

「生活者としての外国人」の ための日本語教育事業報告

「地域で学ぶ日本語教室」
多文化まちづくり工房
代表 早川秀樹

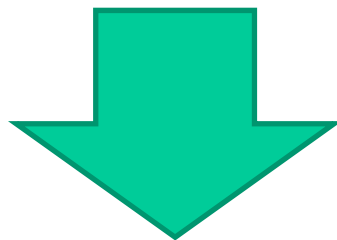
<http://www.dex.ne.jp/>

地域の状況

- ・ 1棟～84棟3,632世帯（横浜2,238：大和1,394）
- ・ 横浜市と大和市にまたがる特殊な立地
- ・ 三つの小学校区、二つの中学校区
- ・ 20%近い外国につながる世帯
 - ≫入居ごとに増す世帯比率
 - ≫年齢が下がれば下がるほど大きくなる外国籍の人口比率
- ・ 周辺に多い労働力の吸収先

地域の課題

- ・ 日本語能力の問題から発生する様々な生活上の課題
- ・ 日本人の高齢化による地域の活力低下



- ・ 地域で生活し、いずれは地域で活躍できる人材育成の必要性

事業概要

- ・ 学齡期を超えて来日する若年世代の急増
- ・ 不況による就労状況の悪化



- ・ 就労するまでの間に集中的に、日本語の基礎を集中的に築く。
- ・ 横のつながりを作ることで、社会で生きていけるネットワークを築く。
- ・ 日本社会で生活する基本的な知識を身につけ、地域で生きられる環境を築く

事業概要

- ・ 母語を使った初期教育の場

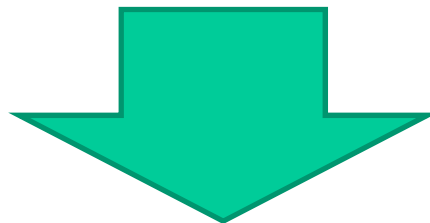


- ・ 地域との連携を生かした学習の場



課題と今後の展望

- ・ 就業後の日本語指導
- ・ 就学前児童の日本語
- ・ 新たな職種の開拓
- ・ 地域の日本人の高齢化



- ・ 様々な連携による多角的活動

今後の展望

連携の取り組み例

- ・ 神奈川県 「入居サポート」
- ・ いちよう小学校 「放課後学習補習教室」
- ・ 泉消防署 「TRYangels」
- ・ 泉図書館 「出張読み聞かせ」
- ・ いちよう団地各自治会「情報多言語化」
- ・ いずみ多文化ネットワーク「あいさつロード」